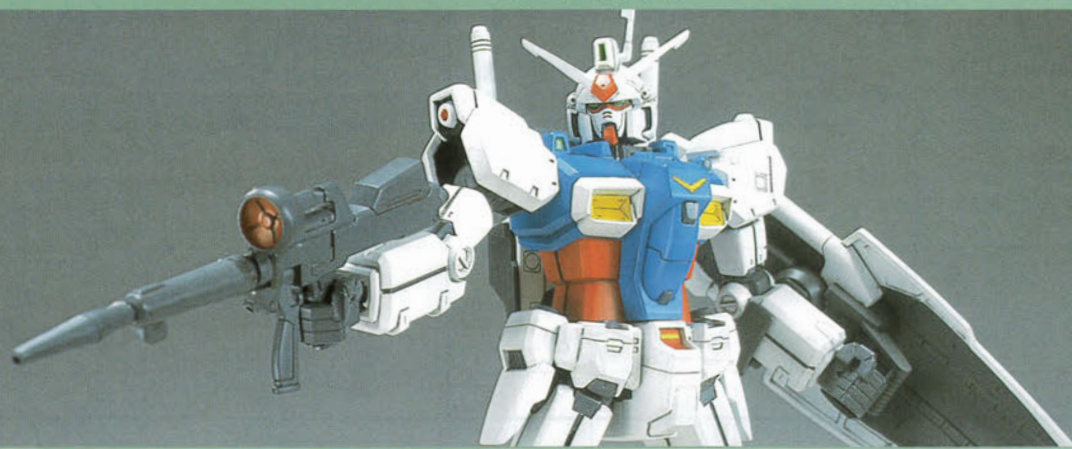


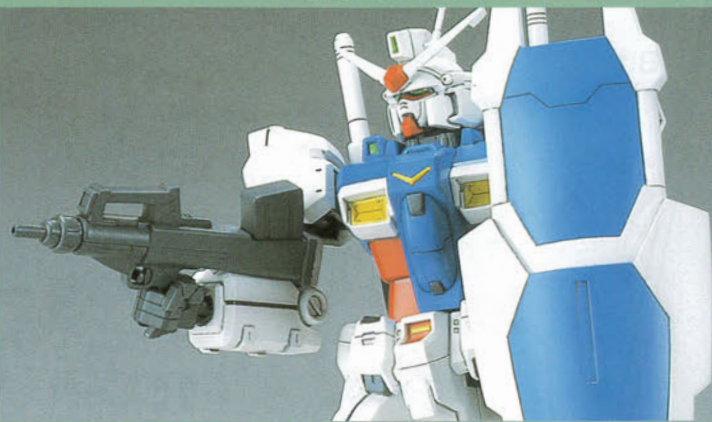
ビーム・ライフル



アクションポーズ



90mmマシンガン



リアビュー



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご確認ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

●本体等：

ホワイト (100%)
※または、ガンダムカラー
ホワイト5

●胸部等：

コバルトブルー (70%)
+ホワイト (25%)
+インディブルー (5%)
※または、ガンダムカラー
ブルー12

●胸部インテーク等：

イエロー (95%)
+オレンジイエロー (5%)
※または、ガンダムカラー
イエロー1

●腹部等：

モンザレッド (100%)
※または、ガンダムカラー
レッド1

●バックパック、ビーム・ライフル等：

ニュートラルグレー (70%)
+ミッドナイトブルー (20%)
+ネービーブルー (10%)
※または、ガンダムカラー
グレー13

●センサー等：

蛍光グリーン (100%)

●コア・ファイターキャノピー：

ブラック (100%)

RX-78GP01 'GUNDAM GP01'

E.F.S.F. PROTOTYPE MULTIPURPOSE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : RX-78GP01
TOTAL HEIGHT : 18.5m
WEIGHT : 39.7t
TOTAL WEIGHT : 65.0t
GENERATOR OUTPUT : 1790kw
THRUSTER
GENERAL OUTPUT : 108000kg
MATERIAL : LUNA-TITANIUM ALLOY
ARMAMENTS : 60mm VALCAN
BEAM SABER
BEAM RIFLE
90mm MACHINE GUN



1/144 SCALE

HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

写真の完成品は、塗装してあります。

BAN
DAI

RX-78GP01 “GUNDAM GP01”

「ガンダムGP01 ゼフィランサス」は、一年戦争終結後に実施された連邦軍とAE（アナハイム・エレクトロニクス）による極秘プロジェクト“ガンダム開発計画”に基づいて開発された試作1号機である。この計画は“連邦軍再建計画”の一環として認可を受け、連邦軍のジョン・コウエン中将管理のもと、U.C.0081年10月20日をもって極秘裡にスタートした。AEは数種類の設計案を提出し、検討期間を経て機体建造を開始した。ガンダムゼフィランサスは、一年戦争時に優秀な戦績を残したRX-78ガンダムのさらなる高性能化を目指し、次期主力MSを開発するためのテストヘッドとして試作された数種の実験用ガンダムタイプMSの内、“汎用型MS”の重力下仕様

SPEC

型式番号：RX-78GP01
全高：18.5m
本体重量：39.7t
全備重量：65.0t
ジェネレーター出力：1790kw
スラスター総推力：108000kg
装甲材質：ルナ・チタニウム
武装：60mmバルカン
ビーム・サーベル
ビーム・ライフル
90mmマシンガン



バックパック

ビーム・サーベル/ビーム・ガン
GP01のビーム・サーベルは、他の機体に装備されるものとはほぼ同程度の威力を発揮するが、コア・ファイター時にはビーム・ガンとしても使用できる。



90mmマシンガン

実弾弾を射出するMSの標準的武装。同時期に運用されていた連邦系MSの標準武装ともなっている。

ビーム・ライフル

GP01の専用装備として開発されたビーム・ライフルはエネルギーバック方式を採用しており、本体に対するエネルギー負担が軽減されている。このコンセプトは次世代機にも受け継がれることになる。

機である。

この機体は、パイロット及び戦闘データなどの生還率向上のため、コア・ブロック・システムを採用している。また、RX-78ガンダムにおいて問題となっていた腹部の構造的な脆弱さを補うため、コア・ブロックの構造や配置などがガンダムとは変更されている。メインジェネレーター及びメインスラスタ、各種の操縦系、管制機器のほとんどがコア・ファイターに搭載されているため、主機であるコア・ファイターを換装するだけで、空間戦闘から重力下まで適応可能となるよう配慮されている。無論、その際には機体の各種アライメント調整やメンテナンスなどが必要で、それぞれに特化された専用機にはかなわないが、空間用装備も同時期に開発されていたため、追加装備による対応が可能であるとされている。



頭部ユニット

GP01の頭部は、メインカメラ部と一対のデュアルカメラ、そして2門の60mmバルカンなどが内装されている。試験機であるため、モニタリング用の装備も多数増設されている。



シールド

GP01のシールドにはアンチビーム・コーティングが施されており、ビーム砲の直撃も数回なら防御することができる。また、携行や移送などの場合の配慮として、全長を短縮できるよう設計されている。

コア・ファイターⅡ

GP01のコア・ファイターは、RX-78のものとは設計コンセプトが大きく異なっており、単なる脱出用のコックピットとしてのみならず、戦闘機としても非常に優秀な機体となっている。MS時、後部ブロックは背部から露出してバックパック（コア・ブロックカバー）内に収まり、バーニアスラスタとして機能する。



■RX-78GP01 GUNDAM GP01（ガンダムGP01 ゼフィランサス）
デザインワークス（コンセプトデザイン：カトキハジメ）



「ガンダムGP01 ゼフィランサス」のリニューアルデザインにおいては、プロポーションの忠実かつ精密な再現と各関節のフレキシブルな可動、同スケールでのコア・ファイターⅡの再現等が重点的なポイントと言える。

Illustration work
Drawn by MASANORI SHINO
CG Work by TAKAYUKI FURUKAWA

ガンダムGP01 ゼフィランサス

RX-78GP01ガンダムGP01 ゼフィランサスは、OVAシリーズ「機動戦士ガンダム0083 スターダストメモリー」および、映画「機動戦士ガンダム0083 ジオンの残光」に登場した試作型MSである。U.C.0083年10月13日、連邦軍の「ガンダム開発計画」を察知した公国軍残党のデラズ・フリートは「星の屑作戦」を決行。オーストラリアの連邦軍トリントン基地を襲撃し、重力下試験のため搬入された核バズーカ装備のガンダムGP02Aを強奪する。偶然その場に居合わせた連邦軍の新米パイロット、コウ・ウラキは、同時に搬入されていたガンダムゼフィランサスに乗り込み追撃するが、それは新たな戦いの序章に過ぎなかった……。ちなみに、GP01の愛称の“ゼフィランサス”はAEのエンジニアがつけたもので、ヒガンバナ科の多年草の一種、タマシダレのこと。花言葉は「期待、純白の愛」（撮影協力：ホビージャパン）

△警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

△注意 (ちゅうい)

●緑部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が突っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・塗装をするところの線



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



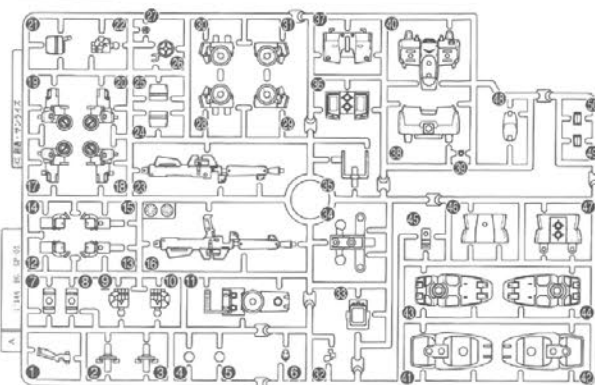
・数値に合わせて回転させます



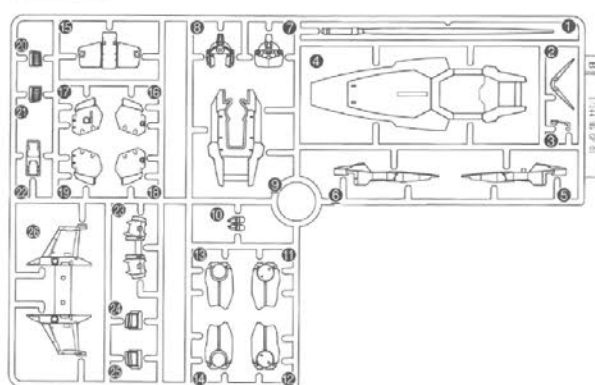
・どちらかを選んで取り付ける

パーツリスト

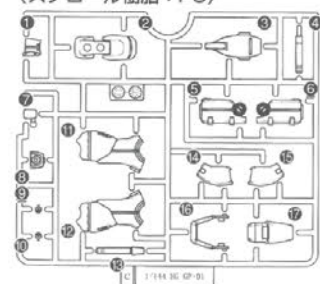
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



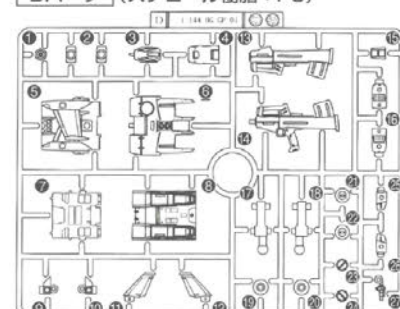
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



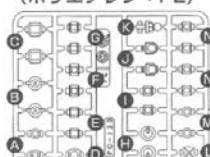
Cパーツ (2枚) (スチロール樹脂: PS)



Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



〈P.C-123プラス〉
(ポリエチレン: PE)



●シール.....1

